



幼少時の体験から、自然環境と開発の両立について考えるようになった原菜花さん。環境アセスメント分野でも評価の高い、建設コンサルタントの八千代エンジニアリング(株)に入社し7年目を迎える。2年前に本社から福岡に異動。全てが新しく、任される仕事も増えた。ひとり立ちの時期に来た、と決意を新たにする原さん。今後の目標などを伺った。

●技術職を選んだきっかけ

子どものころ、遊び場所にしては空き地に、大規模マンションが計画されました。広い敷地には、あつという間に立派な建物が立ちました。緑が広がる風景にできた見慣れない建造物。幼いながらも、ある種の喪失感を感じたのを覚えています。

就職活動の一環として自己分析を行ったとき、この出来事を振り返りました。遊び場は失ったけれど、建設されたマンションによって子供が増え、結果的に地域の活性化を促していた。豊かな生活を送るには、環境と開発の両方が重要と考え、建設コンサルタントの仕事を選びました。

●現場の魅力や責務

環境アセスメントは、環境に与える影響を調査・予測評価し、環境の保全からより良い事業を創り上げていく制度です。自然環境と生活環境に分かれ、私は生活に直結した生活環境に係る業務に携わっています。法律の改正など、環境アセスメントはさまざまな対応を求められます。大変ではありますが、知識や経験が増えると仕事の幅も広がり、やりがいを感じられます。

また、この業務は事業の早い段階で行いますので、少しの遅れが全プロジェクトに関わり、結果的に地元住民の負担になります。それを念頭に入力、スケジュールに支障が生じないように実施することが大きな責務と考えています。

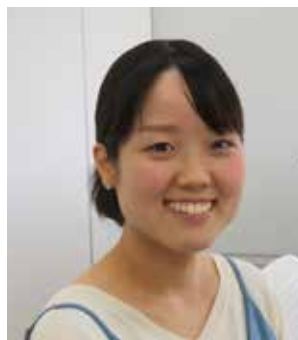
●仕事のこだわりやポリシー

上司から「ボールは自分で持つな」と言われました。仕事はひとつではありませんので、ボールを抱えたまま他の仕事に取り掛かると、業務が滞ります。検討や確認など流れを止めないためにも、ボールを早く返すよう心がけています。また、発注者の中には、環境アセスメントに詳しくない方もいますので、確認の時

担い手シリーズ28

自分の思いを形にするために、調整力を高め続ける

原 菜花 入社7年目(技術士)
八千代エンジニアリング株式会社 九州支店



原 菜花 (はら ななか)
愛知県出身。広島大学総合科学部総合科学科卒業。平成27年4月八千代エンジニアリング(株)入社

会社概要
八千代エンジニアリング(株)九州支店
本社：〒111-8648 東京都台東区浅草橋5-20-8
〒810-0062 福岡市中央区荒戸2-1-5
TEL. 092-751-1431 FAX. 092-725-0581
<https://www.yachiyo-eng.co.jp>

間を確保できるような資料を早い段階で提示しています。上司への確認もタイミングを逃さないようにしています。アドバイスをもらっても、ギリギリのスケジュールでは十分な活用ができません。

●印象的な仕事
入社2〜3年目で携わった、地元の騒音調査は忘れられません。この仕事に係るまでは、マニュアルに沿った考え方が強く、調査の保全対象が抽象的になりがちでした。ですが、この業務は、調査地域に家族や友人がいるため、対象者が明確にイメージでき、調査や資料作成に取組めました。

これ以降は、誰のための環境調査なのかを考えるようになり、大きく成長できたと思っています。また、生まれ育った場所に、貢献できた喜びは格別でした。

●今後の目標
発注者や地域住民の方から信頼を得られるよう、スキルを高めたと思います。それには、専門の生活環境とは別に、自然環境の分野も経験したい。同じ「環境」でも、ふたつの分野は知識や考え方が異なります。けれど、発注者や地域住民から見ると、私は「環境」の技術者です。知識が偏らず、どの質問にも応えられる。そうすることで、安心して地域の環境を任せてもらえます。そのような技術者になるのが目標です。